

【中学仮説分科会】

報告：吉竹輝記（京都）

●参加者：約20名

●資料数：7本

●資料名（発表順）

「中学校理科でのマッキーノのやり方」吉野幸子（埼玉）

「日本と世界の発電量と内訳 中学3年授業記録」中林典子（東京）

「ミニ授業プラン〈ブラジル〉」中林典子（東京）

「《光と虫めがね》で公開研究授業」田辺守男（埼玉）

「1学期の理科の授業の記録」吉竹輝記（京都）

「特支担任日記」吉竹輝記（京都）

「授業プラン〈引力と運動であやつられる世界〉」犬塚清和（愛知）

自分も含めて、日々忙しくて疲れている中学仮説教師が少しでも元気になるためにこの分科会を立ち上げました。どのくらいの人が集まってくれるか心配していましたが、部屋が満杯で入りきれない人があったくらいたくさんの方が参加して下さってとてもうれしかったです。「中学仮説」に興味・関心を持っている人が多いことを思い、これからも続けていく気持ちを強くしました。

資料発表では、犬塚清和さんの授業プラン〈引力と運動であやられる世界〉が盛り上がりました。実際に実験をしながら、体験講座ふうに進めて会場が楽しい雰囲気になりました。一見、中学仮説とは関係ない内容のように思えますが、犬塚さんと参加者のやりとりを見て、

中学生への接し方・授業の進め方についてとても参考になると思いました。

分科会の最後には、若い人（北海道・高野さん，東京・佐藤さん）にも近況を語ってもらいました。いろいろな困難がありつつも，仮説実験授業を軸に子どもたちと元気に過ごしている様子を聞き，僕たち年配者も元気をもらいました。忙しさやいろんな圧力に負けず，自分と子どもたちの笑顔を求めて，知恵を出し，勇気を出してこれからもやっといこうと決意を新たにできた中学仮説分科会でした。

大会は終わりましたが，ガリ本『中学仮説』のシリーズ発行を軸に，「中学仮説」活動を当分の間，続けていこうと思っています。仮説実験授業の実践・授業記録・授業通信，日々の出来事や思いを綴った資料など，何でも結構ですので吉竹まで送って下さい。よろしくお願いします。



吉竹輝記 E-mail:free5electron@ybb.ne.jp

丹後仮説サークルブログ <http://blog.goo.ne.jp/tangokc/>